

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成27年7月30日(2015.7.30)

【公表番号】特表2012-529395(P2012-529395A)

【公表日】平成24年11月22日(2012.11.22)

【年通号数】公開・登録公報2012-049

【出願番号】特願2012-514963(P2012-514963)

【国際特許分類】

B 41 F 35/02 (2006.01)

【F I】

B 41 F 35/02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年6月11日(2015.6.11)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

版胴上に担持されている少なくとも1のフレキソグラフ印刷版の突出した柔軟な印刷表面の濡れたインクを清掃する乾式吸収性非研磨清掃装置において：

前記版胴の回転軸に平行した進路に沿って移動するフレームであって、更に、前記印刷版を向いて位置するように構成された一端を具えるフレームと；

前記フレームに回転可能に取り付けられた少なくとも一つの送り出し支軸であって、前記版胴の回転軸に実質的に平行な回転軸を有し、濡れたインクを吸収するための、巻回した織物状の乾燥吸収性清掃材料を保持し、回転によって新しい清掃材料を送り出す送り出し支軸と；

回転によって使用済みの乾燥清掃材料を巻き上げる少なくとも一つの巻取り支軸であって、前記フレームに回転可能に取り付けられており、前記版胴の回転軸と実質的に平行である回転軸を有する巻き取り支軸と；

前記フレームに取り付けられ、一方の又は両方の支軸に連結されて前記支軸を回転させ、それによって、新しい清掃材料を送出し、使用済みの清掃材料を巻き取る支軸モータと；

前記フレームの一端にむけて配置されるように構成したパッド保持部を有するパッドアッセンブリであって、前記パッド保持部が更に、少なくとも一部が、パッド保持部の前記少なくとも1の溝に係合するように構成されている少なくとも一つの溝と、パッド基部と、前記パッド基部にとりつけるように構成された乾燥非研磨パッドと、を具えるパッドアッセンブリと；

前記乾燥清掃材料に向けて及び、この材料から離れるように移動する前記フレームに取り付けられたリニアアクチュエータであって、前記支軸と前記パッドアッセンブリの間に位置し、前記パッドをフレキソグラフ印刷版に押し付けるように前記パッドアッセンブリを作動させて、前記乾燥吸収性清掃材料の一方の側に非研磨的に係合させ、前記乾燥吸収性清掃材料の他方の側をフレキソグラフ印刷版の突出した表面のインクに押し付けることで前記フレキソグラフ印刷版の突出した表面の濡れたインクや破片を除去するリニアアクチュエータと；

を具えることを特徴とする乾式吸収性非研磨清掃装置。

【請求項2】

請求項 1 に記載の乾式吸収性非研磨清掃装置において、前記乾燥清掃材料の織物は、第一の端部と第二の端部を有する乾燥吸収性清掃布を具え、当該乾燥吸収性清掃布が前記第一の端部に前記送り出し支軸を、当該第二の端部に前記巻取り支軸を取り付けるように構成されており、前記乾燥吸収性清掃布はポリエステル織布を具えることを特徴とする乾式吸収性非研磨清掃装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の乾式吸収性非研磨清掃装置において、前記パッド基部が熱可塑性のポリカーボネート樹脂材を含むことを特徴とする乾式吸収性非研磨清掃装置。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の乾式吸収性非研磨清掃装置において、前記乾燥非研磨パッドがオープンセル構造を含み、更に、ポリウレタンポリマー素材を含むことを特徴とする乾式吸収性非研磨清掃装置。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の乾式吸収性非研磨清掃装置において、前記リニアアクチュエータが、電気モータ、電気機械モータ、圧電モータ、電気ステッパーモータ、水圧式モータ、サーボモータ、及び空気圧式モータから選択される 2 方向式リニアアクチュエータであることを特徴とする乾式吸収性非研磨清掃装置。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の乾式吸収性非研磨清掃装置において、前記送り出し支軸が、更に、前記フレームに向かうように配置された第一の端部を具え、当該第一の端部は複数の歯を有する歯車を具え、当該歯車が前記支軸モータに係合するように構成されていることを特徴とする乾式吸収性非研磨清掃装置。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の乾式吸収性非研磨清掃装置が、更に、特定数の歯を表す信号を送信するように構成された近接センサと、機械式スイッチとから成る群から選択される前記送り出し支軸の回転速度を測定する手段を具えることを特徴とする乾式吸収性非研磨清掃装置。

【請求項 8】

版胴上に担持されているフレキソグラフ印刷版の突出した印刷表面の濡れたインクを清掃且つ除去する乾式吸収性非研磨清掃方法において：

乾燥吸収性清掃材料の織布の一端を送り出し支軸に、当該乾燥吸収性清掃材料の他端を巻き取り支軸に取り付けるステップと；

乾式吸収性非研磨清掃装置をモータ及びベルト駆動システムに取り付けるステップと；

乾燥非研磨パッドを前記乾燥吸収性清掃材料と前記印刷版に対して押圧するステップと；

前記モータ及びベルト駆動システムのモータを作動させて、前記フレキソグラフ印刷版が印刷する際に乾式吸収性非研磨清掃機を移動させるために乾式吸収性非研磨清掃機を前記印刷版の全長に沿って移動させ；前記印刷版の端部で止めるステップと；

前記乾燥非研磨パッドを前記印刷版から離れるように後退させるステップと；

支軸モータを作動させて、前記送り出し支軸に係合させ、新しい乾燥吸収性清掃材料を送り出すと共に、前記巻き取り支軸に係合させ、使用済みの乾燥吸収性清掃材料を巻き取るステップと；

を具えることを特徴とする乾式吸収性非研磨清掃方法。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の乾式清掃方法が更に；

印刷版の幅の入力を受信し、当該印刷版の幅をコントローラの記憶装置内に記憶するステップと；

移動速度の入力を受信し、前記コントローラの記憶装置内に記憶するステップと；

初期の乾燥吸収性清掃材料進行時間を入力し、当該初期の乾燥吸収性清掃材料進行時間を前記コントローラの記憶装置内に記憶するステップと；

コントローラを作動させて、前記入力に従ってインストラクションを実行するステップと；

を具えることを特徴とする乾式清掃方法。

【請求項 10】

請求項 8 に記載の乾式清掃方法が、更に、前記巻き取り支軸上の使用済み吸収性清掃材料の直径の増加に応じて回転するように構成されたピボットアームに近接して配置された清掃材料低下センサからの信号を受信するステップを具えることを特徴とする乾式清掃方法。

【請求項 11】

請求項 8 に記載の乾式清掃方法が更に：

各吸収性清掃材料の進行インターバルで回転する支軸の少なくとも一方の歯車の歯の数をコントローラに通信するステップと；

前記支軸モータの速度を前記歯の数に応じて調整するステップと；

を具えることを特徴とする乾式清掃方法。